

2025年度

授業概要

科目名	補聴器・人工内耳Ⅱ				授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間	2単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST2年後期
【授業の目的・ねらい】 補聴器・人工内耳などの装用と手術に関する基礎知識と聴覚補償について理解できる。臨床と国家試験に則した基礎的知識を身につける。								
【実務者経験】 診療所、児童発達支援にて、言語聴覚士として小児の聴覚障害および発達障害分野の療育に従事する。								
【授業全体の内容の概要】 補聴器・人工内耳などの装用と手術に関する基礎知識と聴覚補償について理解できる。 臨床と国家試験に則した基礎的知識を身につける。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 聴覚障害児・者の補助手段の中で、主として用いられる補聴器の適合と訓練方法を修得する。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	補聴器について理解できる。						プリント	
2	補聴器の適応について理解できる①						プリント	
3	補聴器の適応について理解できる②						プリント	
4	補聴器の種類・構造・特徴について理解できる①						プリント	
5	補聴器の種類・構造・特徴について理解できる②						プリント	
6	フィッティングについて理解できる①						プリント	
7	フィッティングについて理解できる②						プリント	
8	フィッティングについて理解できる③						プリント	
9	デジタル補聴器とアナログ補聴器について理解できる①						プリント	
10	デジタル補聴器とアナログ補聴器について理解できる②						プリント	
11	デジタル補聴器とアナログ補聴器について理解できる③						プリント	
12	補聴器装用訓練について理解できる①						プリント	
13	補聴器装用訓練について理解できる②						プリント	
14	補聴器装用訓練について理解できる③						プリント	
15	総合復習						プリント	
	定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト第4版』医歯薬出版 『標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版』医学書院								
【準備学習・時間外学習】 継続して予習・復習を行い、理解しておくことが求められます。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施し、60点以上の場合に科目を認定する。								